



エルム第13号

発行/特定医療法人  
北楡会札幌北楡病院  
編集/広報委員会  
責任者/久木田 和 丘  
発行/平成14年4月15日

## 全病室が個室になります — 増改築工事着工 —

当病院は、理事会において患者さんのアメニティを飛躍的に向上させる全病室の個室化をはかることとし、このたび工事に着手しました。

当病院の病室は、平成7年に西棟を増築した時から『6人室を4人室』に改めたほか、総病床数の1/3にあたる74室の個室を有し、現在でも個室の数・一病床当たりの面積などでは最高の水準となっています。

昭和60年1月に開院（現在の東棟の一部）以来、主な増改築は東棟の増築（第2次）、西棟の建築（第3次）に続き第4次目となります。

工事・病室の設備等の概要は以下のとおりです。

### 西棟駐車場に増築

西棟北側、現駐車場の一部に病棟を増築します。地上5階、1階部分は駐車場として使用します。駐車台数は現状と変わらないほか、全面ロードヒーティングを施工し、従

来冬期間に積雪のため駐車台数が減少していたのを解消する計画です。

増築の3階～5階は、病室として使用します。また従来の『4人病室は全て2分割して個室2室』とします。総病床数は、222床で増改築工事前と変わりません。

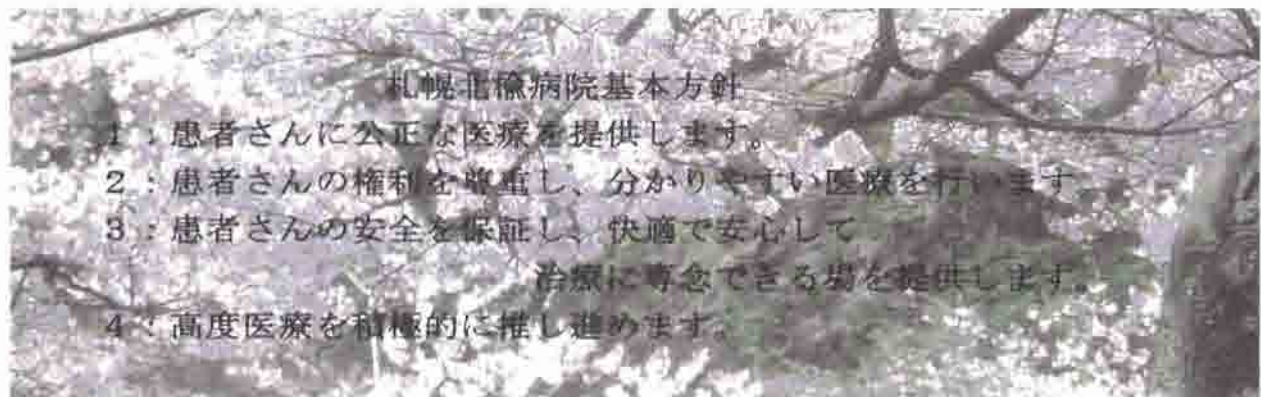
### 病室の設備

これまでの個室と同様に、全室に電話・テレビ・冷蔵庫・ユニットバス・トイレを設備しました。ユニットバス・トイレは、床面とほとんど段差のないバリアフリーな構造とするため特注しました。

### 工事予定

平成14年4月に増築工事を始め、同年8月末に完成、その後既存病棟の改造工事に順次着手し、平成15年1月末には全ての工事が完成の予定です。

病室の工事が中心となりますが、その他ナースステーション・洗面・トイレ等も工事します。なお、工事期間中も通常どおり診療を行います。



#### 札幌北楡病院基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保証し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

病院の建物には外来部門や、入院する病棟、お食事を召し上がる食堂などいろいろな設備があります。しかし残念ながら検査科のところへは皆様がいらっしゃることはありません。今回は心電図検査くらいでしかお目にかかる機会がなく、なかなかご覧に入れることができない検査科をご紹介します。

当院の検査科は血液や尿などを調べる一般検査と、特殊検査の2部門に分かれています。スタッフの総勢は11名でそれぞれ部門を専属で担当しています。

一般検査は体の調子や具合を、血液や、尿から調べるといいます。血液は体中を駆けめぐり、検査した時点の体の情報をたくさん持っているのです。病気が始まったばかりで本人が気がつかなくても血液を調べるとそれもきちんと教えてくれます。

特殊部門は病院の特徴に合わせ、先端医療の研究助手という面で発展してまいりました。発足当時は病気を解明する病理検査や、移植医療における組織の適合を調べたり（HLAタイピング）又、当院に併設されている研究所の実験の手伝いをふくめた研究検査が中心でした。

現在では、移植前に必要な検査と移植後の経過観察に必要な検査、そして輸血部門へと発展しています。

移植医療はその医療行為を必要とする患者さんと、提供してくださる方の組織が適合していないといけません。もし一致する方が見つからない場合は他の治療法を考慮しますので、正確な結果を早く報告することが求められます。

当院では自分の施設で検査を行うので結果

の判明が早く、次の段階への対応が早いのです。また、他の施設などに検査を依頼していませんので、これにかかわる費用を無料で行え、皆様が負担しなくてすむのです。

血液の病気にかかってしまった場合、体の中で血液をつくっている骨髄を移植する治療方法があります。「骨髄移植」です。

正式には「造血幹細胞移植」、と言います。移植というと難しそうですが、提供してくださった方の骨髄液や末梢血中の幹細胞という成分を点滴という方法で移植します。

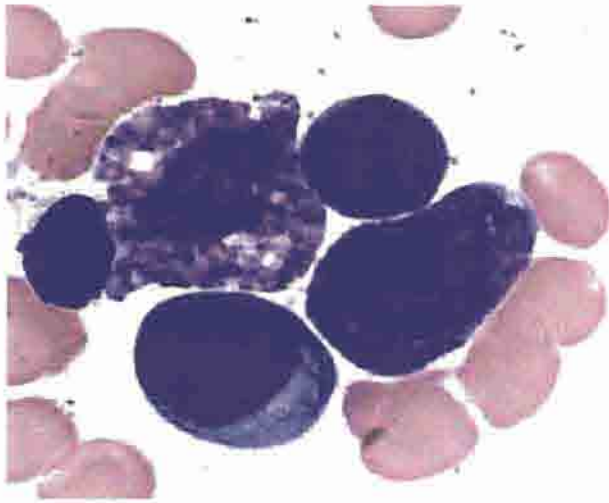
この時、提供してくださった方の血液の性質と患者さんの血液の成分が違っていた場合、そのまま点滴したら血液中の赤血球が壊されてしまう組み合わせがあります。

このようなときに私たちは、細菌のない清潔な環境の中で血液を壊してしまう成分を取り除く作業を行います。また提供してくださる方の事情で必要とする日よりも前に骨髄を採取した時、移植日まで液体窒素に浸して凍結保存しておくこともあります。

その時は同じく無菌の状態です。「幹細胞の純化凍結処理」と言うことを行います。そして、処理した幹細胞の質、量を検査し、移植を担当する医師へ報告します。



私達人間は自分自身の体で作られたもの以外のものが体内に入った時、それを異物とし



### 病気に冒された血液の成分

で、体の外に排除しようとする働きがあります。これを”免疫”と言っています。他の人からの臓器を提供され移植しても、そこできちんと働くためには、こういった免疫を抑える薬を服用しなくてはなりません。この薬剤は体内での濃度が一定基準より低いと臓器の働きが悪くなりますし、高すぎると患者さん自身に副作用が起きてしまいます。

この薬が体に吸収されると実際に体の中でどのくらいの濃さになるかは、患者さんによって差があります。決まった時間に血液を採って、その薬の濃度を計り経過を見て、必要な薬の投与量を設定するのです。

この他に移植の後に問題となる合併症の様々な検査を行っています。

輸血による治療は様々な方が献血してくださった血液をもとに作られた製剤を使用します。時々新聞やテレビで、血液の型が合わなかったために医療事故につながったなどと報道されることがあります。

先ほどお話したように臓器の移植では免疫を抑える薬を服用しますが、輸血の場合は使用しません。本当は症状の程度に差はありますが、何らかの影響を受けているのです。輸血の副作用であるそのような反応を少なくするた

めに処理や管理が必要です。

最近になって輸血に関する法律が整備されいろいろな取り決めが行われました。

当院ではこれらの法律が整備される以前から、輸血療法の安全確保対策として業務の一元化を進めていました。いまではすべて検査科のなかの専門の資格を持った医師や技師が輸血製剤の管理から輸血のための検査そして使用記録簿の管理までも行なっています。

お休みになっているときに急にいびきが止まった。しばらくしたら思い出したようにいびきをした。こんな睡眠時無呼吸症の方が増えているようです。この検査するには決められた時間、呼吸のセンサーを装着します。そんな管理も検査科の仕事です。



このように検査科は、皆様の体の中の病気の診断や治療に役立つ情報をわかりやすく数字などにあらわすところです。

医師はこれらの情報も含めて、診断や治療方針を考えていきます。お会いする機会はないとしても、実は血液や尿など検体を通して、皆様の一番近いところで健康を取り戻すお手伝いをしている部署なのです。

検査科 副技師長 三浦 玲子

# スタートによせて

5 病棟 黒川 明子

期待を胸に、今年も新しい仲間が入りました。よろしく願いいたします。

## ICU 國分 育子

私は、患者さんが話しかけやすく、頼りになる看護師になりたいと思っていました。そのためにも毎日の関わりを大切にし、笑顔でいられるように心がけようと考えています。

私はICUに配属されましたが、ICUではご自分で訴えることの出来ない患者さんが多いと思います。患者さんの表情や態度、患者さんからのいろいろなサインを見逃さないように看護したいと思います。

又、ご家族へも配慮できるように心がけ、ご家族が安心できるような対応をしていきたいと思



ます。そのためには看護師としての確かな知識と技術が必要になると思うので、日々の勉強と先輩の行っている技術を盗めるように頑張ろうと思います。

私は、健康状態には自信があるのですが、物事を考え

すぎてしまい落ち込むところが欠点だと思っています。先輩や友達に相談し仕事に集中出来るように自分の精神状態を整えて行こうと考えています。

「この病院に来て良かった」「この看護師さんに見てもらって良かった」と、患者さんに思ってもらえるように頑張っていきます。

そして、患者さんとの関わりから多くのことを学び、自分も人間として成長して行きたいと思

ることができ、とても嬉しく思っています。この春に卒業した看護学校では、多くの講義や実習を重ね、様々な体験をしました。看護論や看護技術、看護に対する姿勢を学び、演習や実習、看護研究や卒業論文と、実に多忙で充実した三年間であったように思います。実習のはじめの頃は、臨床の雰囲気や圧迫感に圧倒され、受け持たせていただいた患者さんとのコミュニケーションがとれず、自分の思いどおりに行かないことに苛立ちすることもありました。

しかし、そんな私でも、実習の回数を重ねるうちに解らなかったことが解るようになり、その時に応じた対応ができるようになりました。

学生の頃は毎日時間におわれ、実習を楽しんでいたことはありませんでしたが、卒業してみると、もう少し、多くの患者さんと関わりたいという気持ちが強くなります。

私が勤務する血液内科病棟は、実習で経験したことのないところですが、新しく学ぶ事が多いとは思いますが、どんな時でも自分をしっかり持ち、自分が何を学びたいかという意志を先輩に伝えて、自己の向上に結びつけたいと思います。

小さい頃からの理想である笑顔のすてきな看護師になりたいと思います。いつもどんなに忙しい時でも、患者さんを第一に考え、患者さんの痛みや不安を取り除くために、相手の立場に立って考えることを忘れずに一所懸命働きたいと思っています。



# 休憩室

今日は病院に行く日だ。診察の後、血液を採るため処置室に入っていった。顔なじみになった看護師さんに混ざって若い人がある。身につけている白衣が新しく、お化粧も薄く一目で新人と分かった。そう言えば今月は4月だ。

いつも私に注射してくれるベテラン看護師さんが私の所にやってきた。とても優しく笑顔のきれいな人なのだが、今日は今まで以上にとびきりの笑顔で挨拶してくれる。いやな予感がした。「〇〇さんおはようございます。誠に申し訳ありませんが今日は、こちらの看護師が血液を採らせていただきます。お願いします」ととても穏やかな口調なのに「いや」とは言わせない何かの迫ってくる。思っていることとは逆に「いいですよ、どうぞどうぞ」と応えてしまった。自分の性格がいやになる。

その新人看護師さんは、先輩看護師さんから念入りに説明を受けているらしく、注射器を見つめながら何度もうなずいている。少し離れた所にいる私にも新人看護師さんの「はい」「はい」という声が、細くてもはっきりと聞き取れた。正直言って「勘弁してくれ!」の心境だ。説明が終わったらしくいよいよこちらにやってきた。向かって来るときからじーっと私の腕を見つめている。アルコールの綿花で消毒し、その腕に向かって「失礼いたします」と頭をさげた。注射器をもつ手が小刻みにふるえ、それとともに針先も落ち着かない。聞こえるはずもない「ぶずっ」という音が聞こえた様な気がした。とても痛い、痛さが脳天に突き抜けるようだ。わきから背中にかけて汗が出てきた。思わず看護師さんをにらんだ。同時に横についている先輩看護師さんもその新人看護師さんの顔の方を見た。4月、暑くもないはずなのに看護師さんの額に汗がにじんでいる。さっきからまばたきもしない。ふと「きっと私の事はすぐ忘れても私の腕は一生忘れないんだろうな」と思った。

だいぶ前に私は大病をした。と言うより今でも完全には治っていない。ここしばらく病気が出て来ないだけで、またぶり返すかもしれないし、このまま病気がおとなしくなってもなにも起こらないかもしれない。この病気にかかったのはじめの頃は、聞いたこともない病名に狼狽し、悲観的な事ばかり考えていた。いまでは気持ちもすっかり落ち着き、

こうして定期的な検査にかよって、自分の病気と上手につきあえるようになってきた。

この病気にかかった時はなかなか治らない風邪だな、くらいに思って近くの病院にかかった。そこでの検査の結果、すぐに専門の病院に行くように紹介されここへ来たのだ。入院して、薬で髪の毛が抜けてしまった頃、やっとメモを見ないで正式な自分の病気の名前を言えるようになった。“世界で私だけ”だと思っていたこの病気にかかっている人が、この病院には何人もいることも知った。

そんな人たちと出会い親しくなり病棟のロビー等で話をするようになった。病気のことや、病院の事などをいろいろ教えてもらったのだ。

今日、診察を待っていたとき、“病気仲間”の一人と久しぶりに会い、話をした。

「あの時はありがとうございました。おかげでがんばって病気を治そうと勇気づけられました」と改めてお礼を言ったら「実は私も同じ病気の人がいると思うとそれだけで安心してしまっ、あなたを励ましているようで、実はあなたに励まされていたのですよ」と逆にお礼を言われた。この歳になってもう一度「自分だけの力で生きていけない」というのは、こういう事をいうのだなと思った。

いつもの2倍くらいの時間がかかってやっと採血が終わった。紅潮した顔で私の血液の入った注射器を見たまま「終わりました、ありがとうございました」と頭をさげた。その声に「上手だね、少しも痛くなかったよ。がんばってね」と返したら、驚いたように私の目を見た。そして大きくうなずきながら「はい!」と言って、初めてほほえんだ。瞳が輝いていた。その後ろで先輩看護師さんが私に向かって新人看護師さんよりもっと大きく頭を下げていた。

〔敏克〕



# 療養情報センターニュース

一日、一日と春の暖かさを感じる今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて、今回のセンターニュースでは、センターに寄せられるご相談の中で特に多い、退院後の在宅サービスについて具体的な例を挙げながら皆様にお伝えします。

## ～具体的事例～

Nさんは67才、男性。独り暮らしです。腎臓を悪くして人工透析で通院しています。最近、視力も低下してきました。しかしご家族は遠方で、またNさん自身、入院を希望されませんでした。この方の場合には、話し合いの結果、下記の様なサービスを利用することが決まりました。

### \*利用するサービス

- ・家事（洗濯、食事作り、買い物等）、の手伝いをしてくれるヘルパーさん
  - ・通院の時、介助してくれるヘルパーさん
- 〇ここまでサービスは介護保険の制度を利用しました。介護保険の内容、利用方法については、また別の機会でご説明させていただきます。

ここからは介護保険以外の様々なサービスをご案内いたします。

### ・緊急通報システムの設置

一人暮らしのおおむね65歳以上のお年寄りの方で体が弱く発作などの心配がある方が緊急通報装置となるペンダントを押すだけで自動的に消防局が駆けつけてくれ、迅速な対応が受けられます。

利用料は機械の設置工事費用の一部を負担だけです。（設置する機器の種類で変わりますが約1000円～3000円程度です。）

また、生活保護を受けられている方は無料です。

なお、民生委員や近所の方などの地域協力員の方が2名必要です。

### ・福祉電話の設置

離れた親族など、外部の方と連絡が取れるよう、ひとり暮らしのおおむね65歳以上のお年寄りの方に電話機をお貸します。前年度の市民税が非課税の方など制約がありますが、通話料金以外の電話機の設置や工事費また毎月の基本料金などは市が負担します。

### ・日常生活用具の給付

火災警報機、自動消火器、磁気調理器、歩行支援用具など防火に配慮した用品を給付します。

おおむね65才以上のお年寄り、給付を受ける物品の種類によって条件が変わります。料金は給付にかかる費用の1割を程度でだいたい1000～3000円程度です。生活保護を受給されている方は無料です。

Nさんはこれでご自身で希望された在宅生活を安心して送れるようになりました。

紹介させていただきましたサービスの申込先は各区役所の保健福祉サービス課となっております。私達医療ソーシャルワーカーは、皆様の意志を出来るだけ尊重させていただきたいと思っております。入院前から入院中、そして退院後の生活についても何かご不明な点やお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

東棟2階、療養情報センターでお待ちしています。 今回の担当、岩田





## ひとくち栄養メモ ～ご存知ですか？～

身近な野菜たち① ☆キャベツ☆

キャベツは四季を通じて各地で栽培され生産量は大根に次いで多い野菜です。

### ◎注目の栄養価 ビタミンU～

胃粘膜を丈夫にし、潰瘍を予防、治療する作用があります。胃薬でそういう名前を聞いたことありませんか？その他にビタミンCを多く含み、アミノ酸やカルシウムも比較的豊富です。甘味のもとである糖質は葉菜中最も多くなっています。

### ◎キャベツの仲間

紫キャベツ、芽キャベツの他に、ブロッコリー、カリフラワー



青汁でお馴染みの「ケール」もキャベツの一種です。

### ◎調理のポイント

#### ①外葉や芯はビタミンCが多い

芯は捨てずに、漬物にしたり、刻んで餃

子の具に入れて無駄なく利用しましょう。外葉の緑色の部分にはβ-カロチンもふくまれています。

#### ②加熱は短時間にしてビタミンCを守る

ビタミンCは熱に弱いので、加熱は強火で手早くおこないます。

煮込み料理は煮汁ごと食べてください。

#### ③ビタミンCやUは水溶性

長時間、水にさらさないでください。

溜めてある水ではなく、流水で“さっ”と洗いましょう。

千切りにするときは洗ってから切り、水にさらす時間は短くしてください。

春キャベツはやわらかさ、みずみずしさを生かしてサラダや炒め物、浅漬けなどにどうぞ！！

栄養課



### ストーマ外来のお知らせ

外来では、退院後のストーマケア相談を行っています。ご希望の方は外科外来看護師にお問い合わせください。

相談日：第2・第4水曜日

時間：14：00～16：00（予約制）

予約先：外科外来

受診の際は使用している装具をお持ちください。

### <診療情報提供について>

当院では診療情報の提供を行っております。受付窓口は療養情報センターとなっておりますが入院患者さんは各病棟婦長に外来患者さんは外来婦長にお尋ねください。

ご不明な点は東棟二階療養情報センターまでお問い合わせください。

編集後記：今年は桜前線の北上が順調で、円山公園も半月ほど早くにぎやかになりそうです。新しい仲間を迎え、抱負を記事にしたため発行が遅れました。全室個室化工事、新しい仲間、いろいろな意味でにぎやかに新年度を迎えています。エルムは季節毎4回／年に発行しています。ご意見ご希望、投稿などお待ちしております。熊沢・濱田

特定医療法人北楡会 札幌北楡病院

診療科目：外科・内科・消化器科・呼吸器科  
循環器科・小児科・整形外科・眼科  
麻酔科・放射線科・歯科

住所：札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

TEL:011(865)0111

FAX:011(865)9634

交通：地下鉄白石駅5番出口から

環状通り北へ徒歩5分

ホームページ：<http://www.hokuyu-aoth.org>



**Q** 家族に預けることもできないため、現金等の盗難が心配です。  
【入院患者さんから】

**A** 鍵（カード式）付きの簡易金庫（セフティボックス）を床頭台の引き出しの中に設置しました。  
入院患者さん個人毎の専用金庫としてご利用いただいています。  
なお、多額の現金等をやむを得ず持参された場合は、従来通り事務でもお預かりすることができます。ご希望の方は、ご相談下さい。

**Q** 西棟横の駐車場が利用できなくなって、不便です。いつから利用できるようになるのでしょうか。  
【外来患者さんから】

**A** 仮駐車場を設置しました。  
病院増改築工事のためご不便をおかけしています。本年8月末には増築工事が終わり、利用できるようになります。なお、徒歩で2～3分を要しますが仮駐車場を用意いたしました。従来と同程度の駐車が可能ですので、ご利用下さい。

### 外来診察担当医師一覧

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	比嘉 小笠原	小林	笠井 今井 木山	小川	小林 小笠原	笠井 木山	木山 小川	比嘉	笠井 比嘉 木山	今井	松野 交代
消化器科	斉藤 露口	中井	大泉 中井	斉藤	斉藤 桂田	川村	斉藤 桂田	大泉	川村 斉藤	露口	
呼吸器科	本田		本田		本田		本田		本田		
循環器科	山田				横山		舟山				
外科	川村	目黒	米川	久木田	目黒 田中	水戸 交代	玉置	堀江 増子 高橋交代	久木田	玉置	水戸 交代
整形外科	東 高橋		東		武田 高橋		東		高橋		
小児科	安田		安田	○	安田		安田		安田		安田

眼科	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—
歯科	今井	今井	今井	—	今井	—	今井	—	今井	今井
禁煙相談	午前中随時受け付けています。									
スポーツ外来	—	中尾	—	—	—	—	中尾	—	—	—

○印：北大からの派遣医が担当いたします。

消化器科、山田の斉藤は10時30分まで担当

